



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

本会では、東京電力㈱福島第一原子力発電所の事故を受けて、『原子力安全』調査専門委員会を設置しました。今回は、その技術分析分科会において行ってまいりました事故とその対応について分析し、そこから得られた教訓を取りまとめ、公開いたしましたのでお知らせいたします。

福島第一原子力発電所事故からの教訓

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故は、原子力安全に対する信頼を根底から覆すとともに、原子力発電所の持つ潜在的な危険性を改めて浮き彫りにしました。事故終息に向けて、懸命の努力が続けられています。

今回の事故から教訓をくみ取り、世界で稼働中の原子力発電所で同じような事故を二度と起こさないようにすることが重要です。日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会 技術分析分科会では、公開されている情報を元に、今回の事故とその対応を、下記の12項目に分けて分析し、その中から得られる教訓をまとめ、考えられる対策の例を提言としてとりまとめました。

提言としては、1年程度の短期に行うべき対策の例と、2、3年をかけてじっくり改革すべき中期対策の例にまとめています。これらの教訓は、世界中の原子力発電所の安全性向上に役立つだけでなく、原子力分野以外の人工物システムの安全性向上に役立つと考えています。今後、状況の変化に合わせて、適宜、改定していく予定です。

記

1. 地震、2. 津波、3. 全電源喪失、4. 全冷却系喪失、5. アクシデントマネジメント、
6. 水素爆発、7. 使用済み燃料貯蔵プール、8. 安全研究、9. 安全規制と安全設計、
10. 組織・危機管理、11. 情報公開、12. 緊急時安全管理

※ 内容につきましては、日本原子力学会「原子力安全」調査専門委員会ホームページをご覧ください

<http://www.aesj.or.jp/information/fnpp201103/chousasenmoniinkai.html>

http://www.aesj.or.jp/information/fnpp201103/chousacom/gb/gbcom_kyokun20110509.pdf

以上